

## 令和2年度 第4回豊田市商業振興委員会会議録

【日 時】 令和3年2月9日（火） 午後2時～午後3時45分

【場 所】 豊田市役所南庁舎51会議室

【出席者】 <委員>

脇田 弘久〔愛知学院大学商学部 教授〕  
松永 郁也〔豊田商工会議所 常議員〕  
河原 郁子〔とよた下町おかみさん会 平成30年度会長〕  
首藤 政俊〔市民公募〕  
杉山 裕貴〔市民公募〕  
新田 都子〔高岡地域消費者グループ 代表〕  
元岡 征志〔シー・プロジェクト 代表中小企業診断士／社会福祉士〕  
杉田 雅子〔株式会社 杉田組 ブルーベリー事業部取締役〕  
(計8名)

<事務局>

西脇 委千弘〔豊田市産業部部長〕  
柴田 徹哉〔豊田市産業部商工振興室〕  
成瀬 剛史〔豊田市産業部商業観光課課長〕  
吉野 佑美〔豊田市産業部商業観光課担当長〕  
鳥山 湖〔豊田市産業部商業観光課主事〕

【傍聴者】 なし

【次第】

- 1 産業部長あいさつ
- 2 本日の審議スケジュール等について
- 3 委員長あいさつ
- 4 議事
  - (1) 商店街活性化計画の策定について
  - (2) 商業活性化プラン（2021-2024）について
- 5 その他  
令和3年度 商業振興委員会開催日程について

【会議録（要約）】

#### 4 議事

##### (1) 商店街活性化計画の策定について

###### ① 足助中央商店街協同組合

足助中央商店街協同組合から説明を受け委員から意見を聴取した

委員

情報発信について、SNS 勉強会の参加者はどのような方か。

足助中央商店街協同組合

商店街の店主・若手の方が中心である。過去に 6 回開催実績があり、SNS をはじめる店が増えた。写真の撮り方講座も行っている。

委員

組合加入者が 119 から 108 へ減ったということだが、将来的に店じまいになる可能性がある店はどれくらいありそうか。

商店街活性化の上では、イベントを継続的に行うことは重要だと思う。商店街のイメージ付けが大事である。

足助中央商店街協同組合

正式にはわからないが、10 年経つと現在の半分程になると予想している。

委員

そのことを踏まえて、活性化していかなければならない。生鮮食料品店等を誘致しても、採算が取れるのかは難しいところである。紅葉の時期以外の売り上げが見込みにくいことは、新規出店者にとってネックになるかもしれない。地道に活動を続けてほしい。

委員

計画は 4 年ごとのものか。商店街の主な課題としては、人口減少とコロナであると理解した。継続事業が多いかと思うが、新しい事業・取組のポイントについて、教えてほしい。また、既存事業でさらに挑戦したいポイントがあれば教えてほしい。

#### 足助中央商店街協同組合

4か年ごとに策定している計画である。

スタンプラリーはエリアを分けて、より広域を回ってもらえるようにした。また、柄澤照文さんという方がデザインで関わってくださり、毎年オリジナルのピンバッジを作成している。ピンバッジを集めることを楽しみにしている人もいる。街並みさんぽについても、椋山女学園大学の先生が関わってくれたり、講師を務めてくれる方が増えたりしている。デザイン的にかわいいものも提案して頂いている。

11月に補助金を利用して改装した町屋を利用して、お茶屋さんを開いた。民家の持ち主と行政の連携事例である。今後も若い人を巻き込んでいきたい。

重要伝統的建造物群保存地区への選定から10周年を迎えるため、市もイベント等をやってくれると思っている。重要文化財の旧鈴木家住宅が部分開放されることを活用したい。

#### 委員

夫婦ともに県外出身である。市内のことでも知らないことがあり、足助にも出向いてみたが、2～3回行って満足してしまった。香嵐溪に頼りすぎているという現状認識をお持ちの通り、紅葉以外で毎回新たに発見できることや、感動がないように思う。掘り下げて、文化や伝統等の魅力や感動できるポイントを増やすことで、リピーターが増えるのではないか。

#### 足助中央商店街協同組合

香嵐溪だけでなく、街並みエリアのリピーターを増やすよう取り組んでいく。

#### 足助中央商店街協同組合

地域資料館の一部機能を担う形で、市が所有する田口家を活用している。旧鈴木家住宅については、令和5年に一部が開放され、令和10年にすべて公開される予定である。街中にそのような場所ができるので、楽しみにしてほしい。

#### 委員

お雛様や香嵐溪等の足助の魅力が伝わっていないのが残念である。隠れたよいお店やおいしい飲食物があるが、一般のお客様に伝わっていない。商店街の人が外に一步出て広報や周知を行い、人を呼び込んでほしい。お抹茶もさかんでお菓子もある。1年に何回でも来てもらえるようにしてほしい。私も商業者として力を合わせてがんばっていきたい。

**足助中央商店街協同組合**

今後もアドバイスがあれば、いただきたい。

**②一番街商店街振興組合**

一番街商店街振興組合から説明を受け委員から意見を聴取した。

**委員**

廃業から宅地化するケースが多いようだが、宅地化する理由はあるか。オーナーにとって、テナントの賃料が入るよりも、宅地として売りに出した方がよいのか。

**一番街商店街振興組合**

オーナーが土地を売る場合と自分で住む場合の 2 通りあり、地主がそのまま自宅にして住んでいると思われる。玄関と、その先に居間などの空間を作ってしまうと、もう店舗として使っていくことは出来なくなってしまう。

**委員**

一番街商店街はよい立地だと思う。若者がチャレンジできる場となるように支援していくべきである。自分自身の実体験に基づくが、テナントを探している時、どこに空き物件があるのか情報が入手できなかった。空き物件を借りたい人や、チャレンジをしたい人向けの商店街ツアーのような機会があるとよいのではないか。

**一番街商店街振興組合**

第 4 期計画策定時にも、同様の内容の計画を提案している。廃業（空き店舗）になる前に、誰かに使ってもらえないか聞いたり、調整を始めたりすることができると思う、今あるお店から、空き店舗の状態を経ることなく、そのまま引き継いでもらえるとよいと思う。お店がまだある段階で、現実的な助言として、行政から店じまいと、その後の店舗の利活用について提案いただければよいと思う。

**委員**

ふれ愛フェスタと年末大売出しは、コロナで出来なかったとのことであるが、今後もしばらく、イベントが開催しにくいと思う。中止以外の方法は、想定されているのか。

**一番街商店街振興組合**

コロナは一時的な現象であり、人々の生活は次第に元に戻っていくものと個人的に考えているため、コロナ対応のイベントを行うつもりはない。

ふれ愛フェスタでは、段ボール迷路が目玉イベントであるが、とても密になってしまうものである。そのようなイベントがまた開催できるように、元に戻ってほしいという願いも持っている。

**委員**

商店街のイベントは重要なので、引き続きやってほしい。イベントに付随して各店舗に普及するような取組があると良い。集客・販促も活用してほしい。

**一番街商店街振興組合**

4年前に、ほぼ同じ内容の計画案を提案している。計画を提出し、一読されて終わりではなく、読んだ側の責任として、何らかのアクションがあることを期待したい。

ふれ愛フェスタのスポンサーは当商店街であるが、開催エリアは別である。このような事業計画と予算配分の中で、商店街の活動も行うのであれば、ふれ愛フェスタへの出資を当商店街の活動資金に戻したい。商店街の半数が居酒屋になっていることもあり、昼と夜の店の双方が納得・満足いくようにできるとよい。

**委員**

プランの内容との一致度合いはわからないが、今回提出された計画は、現実的な内容だと感じた。また、高齢者の方も大切にできる商店街であるとよいと思う。

それも、商店街のひとつのあり方であると思う。

現在、人通りが昼も夜も少ない。コロナは一過性のものであると思うが、収束した際に乗り遅れることがないようにしてほしい。

**※審議**

**委員**

コロナに対する考え方は、人によって様々だと思った。何年経てばコロナが収束するのか、何年も続いた場合どうするのかということを想定する必要があるのではないかと感じた。

**委員**

行政への対応に不満を持っているようだった。市が計画を認定しているため、市の担当者も商店街とともに活動をしていくものだと思うのではないか。この点について、我々はどう受け止めればよいのか。

**事務局**

空き店舗対策については、出店に対する家賃補助を行っている。先程のご意見は、入居してくれる人を誘致するところまでを、行政に求めていると感じた。そのような一歩踏み込んだ施策も検討する必要があるかもしれない。コロナについては、我々としても悩ましく、判断が難しいものであると認識している。にぎわいを取り戻したいと思っているが、現在は状況に応じて、イベント開催や対応をしていただくしかない。

**委員**

個人的には、そこまで行政がやるべきではないと思っている。住民が真に困っていないから、計画が進んでいないのではないか。まちづくりは自分たちで行うものと考えているので、行政頼りばかりではいけないように思う。そのような姿勢で、行政主導でうまく行った事例は少ないのではないか。

**委員**

その通りだと思うが、代表理事からすれば、一歩踏み込んだものを求めたい思いがあったと思われる。商店街の実態として、新しい方が来ていないのか、あるいは、今いる方が空き店舗の情報等を外に出していないのか分からないが、それが把握できると計画が一步進むかもしれない。4年前と同様、今回も計画を出したが何も変わらなかったという状況にならなければとよいと思った。

**委員**

行政としては、勉強会を開いて、色々な事例を伝えるとよいと思う。岡崎市では、商店街活性化の自主的な取組や支援活動を活発にやっているなので、そういった事例を参考にしていればよいかもしれない。

**委員**

岡崎市は、まちの人・それを支える人・行政が、一体的に活動している事例だと認識している。

**委員**

空き物件の貸し手と借り手のマッチング制度等もよいかもしい。

**③小坂発展会**

小坂発展会から説明を受け委員から意見を聴取した。

**委員**

活性化における課題は何か。

**小坂発展会**

他の商店街等と違って、当発展会の区域内には、緑の文化ゾーンがある。そのエリアの活用が課題である。また、若手役員が育っていないことも課題である。

**委員**

「とよた小坂 食べ歩き 飲み歩き」について、前回参加者が 23 店舗である。そもそも飲食店が 48 店舗もあり、羨ましいと思う程である。このようなイベントも開催しやすい印象を持った。とはいえ、全飲食店の半数程度しか参加していないため、参加店舗が増えるような取組も行ってほしい。

**小坂発展会**

「とよた小坂 食べ歩き 飲み歩き」イベントは、1年に平均 2 回開催してきた。新規参加店舗があると思ったら、次回は遠慮するという繰り返しが見られる。最大参加店舗数は 27 店舗で、コロナによって 13 店舗まで落ち込んだこともある。会員のうち、キャバクラとスナックが 5 店舗あったが、現在 2 店舗に減った。こうしたイベントについても、コロナ禍での拡大は考えておらず、参加店舗の少ない、小規模なものでもよいと思っている。また、参加店舗の新規募集にあたっては、当発展会の会員以外の近隣の店舗にも声を掛けようと思っている。そうすることで、バラエティが豊かになる。

**委員**

夏祭りの会場が毘森公園ということだが、野球場の照明が老朽化により撤去され、今後どうなるか気になっている。毘森公園がどのように変わるとよいか、ビジョンは持っているか。

## 小坂発展会

漠然としているが、義務として何か取り組まなければならないとは思っている。今年、具体的にアプローチしようとしているのは、豊田市美術館である。車・駅から徒歩で行く人もいる。その人たちが、駅の西側を歩いてくれるようにしたい。一昨年のラグビーワールドカップにおいても、多くの人は駅の東側に流れていってしまい、裏で食べ歩きのイベントをしていてもなかなか人が来ない。ラグビーのような大きなイベントに頼ってはいけないと思った。これまで、美術館に来る方をターゲットにしたことはなかったが、今後は検討する。

## ※審議

### 委員

「とよた小坂 食べ歩き 飲み歩き」に参加したことがある。当時はコロナの影響もなく、非常に魅力的で楽しく参加できるイベントだった。

毎年の予算 170 万円とあるが、テントや法被、チケット・チラシの印刷費用等、準備に使用されるのか。飲食店に対して、予算が直接使われることはあるのか。

### 委員

おそらく予算は、準備関係に使用されるものである。

### 委員

前売り券を買うことで、参加者は 500 円程お得になる。個人的には、予算を使って、もう少し参加者がお得だと感じられるようにできるとよいと思った。

### 委員

お得感のあるメニューや商品の提供については、現状、お店の持ち出しに頼っている。

### 委員

先程の一番街商店街振興組合と同様に、当発展会に対しても、どのように市がアドバイスすべきか難しいと感じた。

## (2) 商業活性化プラン(2021-2024)について

### 委員

人材確保・育成に関するテーマがあると思う。コロナ対策やさまざまな課題が市内である中、人材に対するウエイトはどうなっているのか。

従来、「人材確保・育成」と言った時、「雇用」・「採用」という意味合いが非常に強かった。そのため、パブリックコメントにもそのような認識にもとづいた意見が多いように見受けられる。しかし最近では、「確保」しなくとも外部の人材を「活用」しようとするトレンドがあるように思う。本プランでも、兼業・副業人材について言及があり、そのようなトレンドを視野に入れられていると思った。その視点と、パブリックコメントの意見を、うまくプランに反映していただければと思う。

パブリックコメントの実施方法について、ご意見を伺いたい。提出された意見が128とあるが、これは自発的に意見を言いたいと思った人の意見の数であると思う。オープンに募集をしているとはいえ、結局は意見を言いたい人・意識が高い人に偏り、市民の全体の声を代弁しているとは言えないのではないか。アウトリーチ的に、意見を聞いたことがあるか。

### 事務局

128件の内訳をみると、大半がEモニターとなっている。事前に登録されている一般のモニターの方に、意見をいただいている。

### 委員

世代や地域、性別ごとにばらつきがあるのか。

### 事務局

Eモニター制度の趣旨から、各年代や地域性など、幅広い意見がいただけていると認識している。

### 委員

パブリックコメントにおける幅広い市民の意見の取り方は、現状、Eモニターの形式が限界か。

#### 委員

パブリックコメントのあり方や考え方も、今後変わっていくかもしれないが、現状はこのような形式で行政が実施している。今回のEモニターの方については、細かなデータは掲載しなくともよいと思うが、幅広い世代からご意見をいただいたということ、どこかに併記する考えはあるか。

#### 事務局

E モニターに対するアンケート結果の公表ルールに基づいて対応する予定である。

#### 委員

4ページにある大型店誘致に関する意見について見ると、歓迎している人と、断固反対という人が双方おり、世の中にはさまざまな意見があることを改めて感じさせられた。感想に留まるが、パブリックコメントの有意義さを感じた。

#### 委員

パブリックコメントへの対応は大変だと思う。過去のパブリックコメントに対して、意見への対応の成果を市からもっとアピールしてもよいのではないか。

#### 委員

SDGs アイコンに関して、市民が SDGs について知っていることを前提にしていると思うが、どういうものなのか説明を加えた方が丁寧であると思う。

#### 委員

パブリックコメントとプランの概要版を照らし合わせて見てみると、パブリックコメントを提出した方々は、皆同じような課題を認識していることがよく分かった。豊田市にじっくりくるような施策等が出来るとうい。先日、商業観光課のアドバイザー派遣を実際に利用し、人材育成の講師として来てもらったが、非常によい制度だと思った。8時間も活用でき、社会保険労務士や税理士の方からアドバイスをもらえることも今回初めて知った。こうした制度を、豊田市はもっと周知する必要がある。

## 5 令和3年度 商業振興委員会開催日程について

#### 事務局

今年度の委員会は、本日をもってすべて終了となる。4月以降、来年度委員会が開催される。日程についてはこれから決めていく。